

町長	副町長	課長	主幹	担当	合議

別記様式第4号

会議等結果報告書					
会議区分	会議 ・打合せ・ 協議		文書番号	上富子育 第1215号	
			決裁期日	令和2年2月14日	
名称	令和元年度 第5回子ども・子育て会議				
日時	令和2年2月13日(木) 13:30~14:30				
場所	保健福祉総合センター 1階会議室				
出席者	子ども・子育て会議委員15名うち小山田委員、野原(幸)委員欠席(別紙名簿参照) 上富良野町 向山町長 保健福祉課 鈴木課長 健康推進班 星野主幹 子育て支援班 吉河主幹、友廣主査、本間主事				
内容	<p>・開会</p> <p>1 委嘱状交付</p> <p>【事務局】</p> <p>委員の任期が令和元年11月1日からとなっていることから委員の皆様へ委嘱状を交付させていただく。</p> <p>欠席者2名を除く13名の委員に委嘱状交付。2名については後日事務局から交付。</p> <p>2 町長挨拶</p> <p>【上富良野町長】</p> <p>先ほど、皆様へ委嘱状の交付をさせていただいたが、子ども・子育て委員をご快諾いただき感謝したい。</p> <p>年が明け、町も新年度に向けて準備を進めているところである。その中で上富良野町の子ども・子育て支援事業計画が令和2年度から新しく五か年計画としてスタートする。</p> <p>上富良野町の子育てについては、妊娠期から教育段階まで全ての世代に行き届いた子育て支援を行うことを大きな目標に掲げて取り組んでいる。</p> <p>新しい動きとしては、様々な相談や支援内容の情報共有を包括的に行う仕組みづくりが大事ということから包括的な支援センターを設けて相談等のワンストップ化を図っている。</p> <p>また、子どもの貧困についてはぜひとも根絶したいというのが私の特に強い思いである。普段見えてこないものをはっきりと浮かびあがらせ、早期対応することが非常に重要だと思う。このようなことを推進するためにも委員の皆様のご協力を引き続きお願い申し上げて開会のご挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひしたい。</p>				

3 委員自己紹介

【事務局】

今回から新たに5名の委員が変更になったことから委員の皆様には自己紹介をお願いしたい。

子ども・子育て委員、事務局自己紹介

4 委員長及び副委員長選任について

※子ども・子育て会議条例第5条に基づき、委員の互選により選出

委員長：山本 八千代

副委員長：小山田 雅春

以降、議事については、山本委員長の進行で進める。

5 議題

【委員長】

議題に移る前に資料1、資料2の一部修正、追加資料がありますので差し替えしていただきたい。

議題(1) 条例の改正について事務局より説明願う。

【事務局】

資料1 上富良野町放課後健全育成事業の設備運営に関する基準を定める条例の一部を改正について説明。

【委員長】

議題(1)について質疑ないか。なければ承認とさせていただきます。

【委員】

ありません。

【事務局】

子ども・子育て会議の委員の皆様からご承認受けたので、本条例を3月の議会に上程させていただく。

【委員長】

議題(2) 令和元年度地域子育て支援事業の実施状況について事務局より説明願う。

【事務局】

① 利用者支援事業について

H29.4月に子ども・子育て包括支援センターの設置、H31.4月より子どもセンターにあった相談支援センターをかみんに集約し、子育て相談窓口の一元化を図り、体制を整備してきた。これにより、妊娠期から子育て期の相談に加え、子どもの発達についても専門職が相談に応じることが可能になった。

また、相談内容については子どものことや子育てについてのことだけでなく夫婦間のトラブルや経済的な問題など多様化してきている。

これらのことに細やかに対応していくことが虐待予防にも繋がっていると実感している。

内 容

内 容

③ 放課後児童健全育成事業について

実績見込みの登録人数には、H30年度と大きな差はないが、平均利用児童数はH30年度と比べ、1日あたり4名増と利用が増えている。

⑥ 養育支援訪問事業、及び要保護児童支援事業について

養育支援連絡会議は年6回偶数月に開催しており、保健福祉課健康推進班、教育振興課学校教育班、中核機関の子育て支援班の内部会議となるが、各機関で把握している情報の共有を図り、養育支援家庭の支援状況の確認及び支援内容の協議を行っている。

その中でも支援困難なケース、よりリスク度が高まってきたケースについては要対協（要保護児童対策地域協議会）の個別検討会議にケースをあげて、児童相談所、警察署を含めた関係機関を参集し、対象ケースについて現状の分析、支援方針を決定し、支援している。

養育支援家庭の今年度の傾向として、特定妊婦、養育力に支援を必要とする方が増えている。また、虐待対応ケースも少なくなく、1つひとつが対応に困難を伴うが、認定こども園や学校等ケースに関係する機関との密な連携があるからこそ地域で継続的な支援を行うことができている。

⑨ 病児保育事業について

R1.6月より医療的ケアを抱える子どもを上富良野西こども園さんに受け入れて頂いている。入所前は事前調整、入園後は子どもの成長について保護者をはじめ、皆が日々感じている。

【委員長】

議題（2）について質疑ないか。

【委員】

ありません。

【事務局】

委員の皆様には、第2期計画を配布しており、第1期計画については、町のホームページに掲載されている。継続の委員は過去の流れなど把握しているが、新規の委員でわからない部分がある場合は、事務局に質問していただきたい。

【委員長】

追加資料 令和2年度子ども・子育て支援事業 新規事業（案）について事務局より説明願う。

【事務局】

追加資料 令和2年度子ども・子育て支援事業 新規事業（案）について説明。

第2期計画では、様々な町の妊娠期から学童期における支援事業が盛り込まれているが、1点目の生活困窮の対策の事業として学校に入ると給食費の軽減など、要保護、重要保護に対する軽減対策が教育委員会では構築されていたが、小学校前の子どもがいる家庭については切れ目のない支援という部分では、第1期計画ではなっていなかったということが委員の皆様からご意見ありましたので、切れ目のない支援ということで子育て世帯に対する生活困窮助成事業について組み立てした。

2点目の養育支援家庭訪問援助事業は、子育てには養育者の心配や苦悩があり、子育てに前向きになれない家庭もある。そういった家庭に行政が個別に対応する必要があるため、実施するものです。

【委員長】

追加資料について質疑ないか。

【広瀬委員】

ファミサポの利用料助成の対象者が18歳未満児童世帯で町民税所得割非課税世帯となっているが、小学6年生までではないか。

【事務局】

ファミリー・サポート・センター実施要綱などを確認し、対象児童を確認させていただく。

内 容

【委員長】

その他、ありませんか。

【事務局】

子ども・子育て支援事業 新規事業（案）については、3月の議会で予算編成に合わせて資料説明する。生活困窮助成事業については、町内の4園については2月末に連携会議を行い、具体的な内容を説明し、また、ファミサポ事業についても詳細な事務スケジュールについても説明させていただく。

【委員長】

議題（3）令和2年度の会議予定について事務局より説明願う。

【事務局】

・令和2年6月 第1期計画の実績報告と令和2年度の子育て支援事業について
・令和3年2月 令和2年度の地域子育て支援事業の実施状況の報告
※教育・保育施設における計画変更の場合は、必要時において開催する。

【委員長】

議題（3）について質疑ないか。

【委員】

ありません。

【委員長】

議題（4）その他について事務局より説明願う。

【事務局】

その他の議題についてはありませんが、委員の皆様から意見や質疑があれば受け付けたいと思う。その前に山本教授からお話しがあります。

【委員長】

一身上の都合により、転勤するため子ども・子育て委員を3月31日までとさせていただきます、後任に松原教授に来ていただくことになった。遠いところからになるが、これからも上富良野町の子育てが良くなるよう応援しています。

【事務局】

後任には、松原教授が来ていただけるということで、引き続き松原教授に委員長として山本教授から引き継ぎしていただいてよろしいか。

・多数の拍手をもって承認。

【委員長】

最後に委員の皆様から、意見や質疑ないか。

内 容

【野原(望)委員】

子育てについて手厚く支援していただいていると思う。子育てについてのアンケートを見て共感する部分もあったので子育て環境がより良くなるといいなと思う。

【林委員】

小さな町であるからこそ、一人ひとりにしっかりと目を向けていただき、健診の際に発達の遅れに気づき発達支援をしてくれるなど親としても安心である。

【内村委員】

子どもの医療費が中富良野町は無料なのに上富良野町は無料じゃないのはなぜか。

【事務局】

子どもの医療費については所管が町民生活課なので直接の回答はできないが、今までの審議の経過の情報共有として、子どもの医療費は上富良野町を除く近隣の市町村については中学生まで、南富良野町では22歳まで無料となっている。

今まで議論してきたことは、医療費を無料にすることが本当に支援なのかということも議論していただいた。子どもの医療費を無料にすることは金銭的支援である。医療費を無料にするのではなく、健康な子どもを育てること。

病気になったとしても、一度の通院で大丈夫な体力、知力。そして早期発見、早期療育を上富良野町の子育て支援の中軸として行ってきたということで理解していただきたい。

しかし、町に内科と外科はあるが小児科が無い。自分の車で富良野などに通院できる方は良いが、転勤で本州から来た方など冬道を運転することが難しい家庭は多い。これは課題だと思うので、第2期計画の中で皆様と一緒に考えていきたい。

【瀧本委員】

子どもセンターなどいつも同じ人が利用しているイメージがある。利用できる親は良いが家に引きこもっている親もいて、本当に必要な人に支援が届いているのかわからない。もっとこういう事業があることを検診の時に周知していただいたり、親同士でも発信していきたい。

【広瀬委員】

新規事業の生活困窮に対する支援や養育支援家庭の援助など、今まで色々な支援で見えてきた、支援出来ていなかった部分を新しい事業として支援していくのが上富良野町の良いところだと思う。

【藤澤委員】

子どもはすぐに大きくなるのでその際は必死になって子育てをして、今になってもあの時こうしていれば良かったと思うこともあるが、子どもの学校の行事等には欠かさず参加して良かったと思う。子どもの頑張っている姿を見ること。参加するのが面倒くさいなど大変な気持ちはわかるが、ぜひ参加していただきその時を楽しんでほしいと思う。

内 容

6 その他

- ・次回開催日 令和2年6月予定

【事務局】

新規委員でなかなか会議の中で聞けなくて聞きたいことありましたら、事務局がお答えしますのでお時間ある方はぜひ聞いてみてください。

以上で子ども・子育て会議を終わります。

- ・閉会